



2年生のみなさんへ

課題を提示しますので、次ページからの内容を確認して取り組んでください。

1. 各領域から実習にむけての事前課題（成人・小児・母性・精神・在宅）
2. 国家試験対策の課題

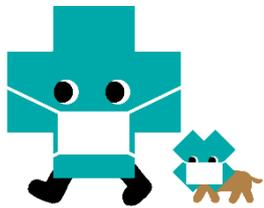
課題に関して確認したいことや相談があるときは

個別に対応しますので

平日の8:30~17:00の間に学校に電話連絡してください

そのほか

必要に応じて学校から連絡することもあります



今後も看護学生として適切な行動をとりましょう
検温を継続し、体調管理に努めましょう
室内でもできる適度な運動と栄養バランスのとれた
食事ができるよう心がけましょう

次の新着情報も必ず確認して下さい



- ↓ 1. 各領域からの事前課題はこちら ↓
- 

*用紙は A4 サイズで印刷する（実習記録に綴るため）

*学習に使用した文献・出典は項目ごとに記載する

領域	課 題 内 容	提出日
成人	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2019 年度実習要綱 P.35～36 手術見学実習を読む ・ 事前学習の内容を確認し、まとめる ・ 末梢挿入型中心静脈カテーテルについて学習し、まとめる 	実習初日
小児	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2019 年度実習要綱 P.45 事前学習についての内容を確認し行う ・ 1) ～3) は 4 月 30 日 4) は実習初日と提出日が異なる 	4 月 30 日 実習初日
母性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2019 年度実習要綱 P.69 5.事前学習についてのうち、下記を行う 2) 母性看護における医療機関と保健医療の連携 3) 沐浴の技術レポート作成 	4 月 6 日
精神	<p>以下の内容を学習しまとめる</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 精神保健福祉法 <ul style="list-style-type: none"> ・ 入院形態 ・ 行動制限における患者の権利と必要な看護（信書、電話、面会、隔離） ② 安全管理 <ul style="list-style-type: none"> ・ 無断離院、事故、自殺を防止するための看護 ・ 身体拘束とその看護 ③ 社会復帰療法 <ul style="list-style-type: none"> ・ 作業療法、レクリエーション療法 ・ デイケア、就労支援 ④ 基本的コミュニケーション技術 	4 月 6 日
在宅	<p>以下の内容を学習しまとめる</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 実習で活用するための学習 <ul style="list-style-type: none"> ・ 在宅看護にかかわる法令・制度とその活用 法令・制度、介護保険制度、訪問看護の制度・提供について、 ケアマネジメントと社会資源の活用、地域における多職種連携 ・ デイケア・デイサービスについて（それぞれの役割・機能） ・ 日常生活動作や活動レベルを判断するための評価表、リハビリテーション看護の方法 バーセル指数、IADL 尺度、機能的自立度評価表（FIM）、介護度、日常生活自立度、認知症高齢者の自立度 ・ 講義資料をふりかえり実習に役立てられるように整理しておく ② 受け持ち患者や利用者、施設の特徴を理解するための学習 <ul style="list-style-type: none"> ・ リハビリテーションを担う医療施設の特徴と看護 ・ 在宅療養準備期（退院前）の特徴 ・ 入退院時における医療機関と訪問看護の連携 （退院時における連携の重要性） ・ 医学書院【リハビリテーション看護】より、経過別に見るリハビリテーション、連携職種、多職種連携のあり方、障害受容、家族の体験 	実習初日



↓ 2. 国家試験対策の課題はこちら ↓

国家試験対策 ～新3年生へ向けて～

3年生の5月～10月は受け持ち患者さんを通して学ぶ内容が重要な国家試験対策となります。実習が始まる前のこの時期を有効に活用しましょう。

自分の習熟度や理解度に応じた課題から、Step up 目指して取り組んでください。

Step.1 1年次・2年次（第1回・第2回）の模擬試験を振り返ろう ☆

- 各設問の選択肢について、正答の選択肢はなぜ正解なのかを説明できるように、誤答の選択肢は何のことを言っているのかを説明できるように、調べ、まとめる。

*3年生の4月には模擬試験を計画しています。同じ分野の問題が出たときに自信をもって正答できるように取り組みましょう。調べることで暗記に頼らない学習となります。

Step.2 必修問題レベルの基本的知識が理解できているかを確認しよう ☆☆

- 国試対策委員が提示した問題について、問われ方が変わっても正答できるように、各設問の選択肢の言葉を説明できるように丁寧に調べる。

*国試対策委員が提示した問題は、必修問題としてわかっているべき内容が抜粋されています。問題に取り組んでいない場合は取り組み、取り組んでからふりかえりをしていない場合はふりかえり、まとめましょう。

- 基礎看護技術の知識と根拠を確認する。

*技術レポートとして、手順だけでなく根拠も含めてまとめましょう。実習で根拠ある技術が提供でき、技術に自信がもてるようになります。それが国家試験対策ともなります。

Step.3 これまで学習した内容について、自分の理解度を確認しよう ☆☆☆

- 1・2年生で学習した疾患を一覧で見えるようにし、説明できる◎・わかっている○・よくわからない△・わからない×のレベルに分類し、×→△→○→◎とレベルアップできるように学習内容をまとめる。

*解剖生理・病理的状态・検査・治療（主要薬剤）・看護までの一連で関連づけて理解できるようにまとめるようにしましょう。

Step.4 これまで学習した内容をもとに、知識の確認をしよう ☆☆☆☆

- 夏休みの課題で提示した資料の「まず取り組むテーマ」を参考にして、各テーマについて説明できるように学習する。

*解剖生理・病理的状态・検査・治療（主要薬剤）・看護までの一連が説明できるようにしましょう。

Step.5 領域実習で幅広く学ぶための内容を確認しよう ☆☆☆☆☆

- 社会保障・社会福祉に関する知識の種類・内容を確認する。

・社会保険（社会保険制度・医療保険制度・公費負担医療制度・介護保険制度）

・保健／医療（地域保健・成人保健・母子保健・精神保健）

・社会福祉（社会福祉法・児童福祉・障害者福祉・高齢者福祉・その他の福祉）

*「誰のために、何のために作られた、どのようなものか」ということが説明できるようにしておきましょう。そして、各領域実習を通して関連する社会保障・社会福祉を理解していくようにすると、確実な知識となります。